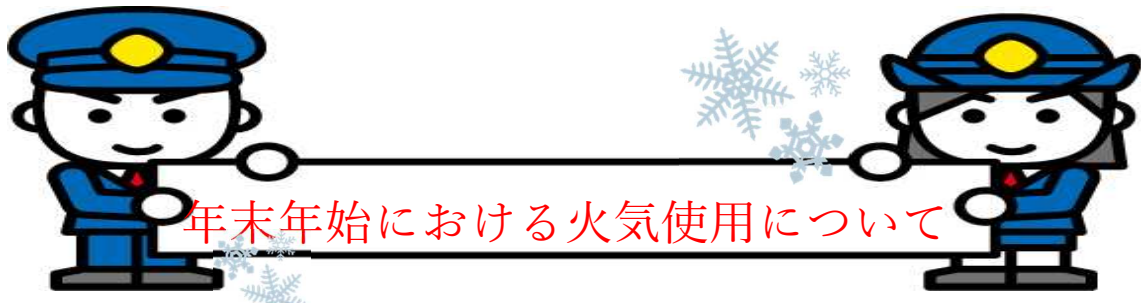




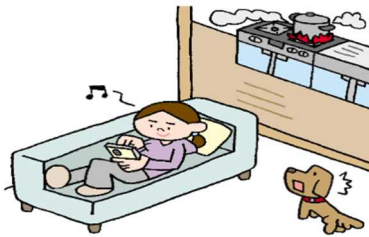
年末年始における火気使用について

この時季になりますと、気温が低く、暖房器具や火気を使用する機会が増えることから、火災の発生が増加するおそれがあり、空気が乾燥し、被害も大きくなりやすくなります。火気などを使用する際には、取扱いに十分注意し、火災予防に努めましょう。

火災予防の 4 つの習慣

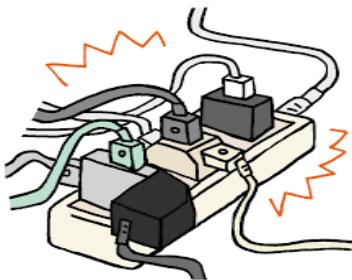
・ ストープは燃えやすいものから

離れた位置で使用する。



・ ガスコンロなどのそばを離れる
ときは、必ず火を消す。

・ 寝たばこは絶対にしない、させない。



・ コンセントはほこりを掃除し、
不必要なプラグは抜くようにする。



火災予防の6つの対策



- ・火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置のついたものを使用する。
- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ・火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類、及びカーテンは防災品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ・お年寄りや身体の不自由な方は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ・防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

火災予防に努めて楽しい年末年始を過ごしましょう。



2024 年度全国統一防火標準語



「守りたい 未来があるから 火の用心」